

受験番号

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち1）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

3

得点

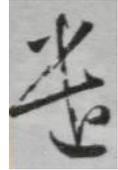
4×3
12

(1)

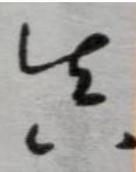
①



②



③



3×3
9

(2)

①

良



②

己



③

武



12
減点-1

(3)

お（於）ほそ（所）らに（尔）むれた（多）るたつの（能）
さしな（那）か（可）らおも（无）ふこころの（能）あり
け（介）なるか（可）な（奈）



5×2
10

(4)

②

双鉤填墨という、書跡や絵画を複製する際に、薄
紙を重ねて輪郭を写し、その中に墨を塗り込むこ
とで複製を作る技法などを用いて模写したもの。



①

臨書の方法の一つであり、臨書対象とする古典等
の手本の字形にとらわれず、筆の流れや筆者の意
図を重視し、古典から受ける印象を大切にして書
く方法のこと。



作品名・筆者名・時代
3×8 24

(5)			
図版C	図版B	図版A	
寸松庵色紙 /	伏波神祠詩巻 /	萊子侯刻石 /	作品名
伝紀貫之 /	黄庭堅 /	/	筆者名
平安 /	宋 /	新 /	時代

3

得点

受験番号

令和八年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち2)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

(1)				時間
8・7	6・5	4・3	2・1	
<p>・前時の作品で意見交換。 ・『情熱』の清書と自己評価。</p>	<p>・「顔氏家廟碑」「孫秋生造像記」の書風の違いについて鑑賞、参考にする古典の選択。 ・古典を生かし、『情熱』の創作。</p>	<p>・「孫秋生造像記」の鑑賞。 ・「孫秋生造像記」の臨書。</p>	<p>・「顔氏家廟碑」の鑑賞。 ・「顔氏家廟碑」の臨書。</p>	学習内容
③ ②	③ ② ①	① ①	① ①	評価の観点
<p>・習得した知識を活用して、他者と意見交換し、ワークシートに記入している。 ・自身の表現の幅を広げようと、自らの意図に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・古典の書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典の書風を捉え、自身の意図に基づいて、草稿を構想し、工夫している。 ・主体的に創造的な学習に取り組もうとしている。</p>	<p>・「孫秋生造像記」を構成する様々な要素について理解している。 ・「孫秋生造像記」の線質、字形、構成等を生かして表現する技能を身に付けている。</p>	<p>・「顔氏家廟碑」を構成する様々な要素について理解している。 ・「顔氏家廟碑」の線質、字形、構成等を生かして表現する技能を身に付けている。</p>	評価規準

4

受験番号

得点

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち3）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

受験番号

高等学校 芸術（書道） 解答用紙

（4枚のうち4）

（解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること）

4 (続き)

・内に熱く燃え上がるようなエネルギーを秘めた「情熱」を表現したい。

・周りに弾け出すようなパワーがあふれる「情熱」を表現したい。

6

(2)

〈図版Aを用いた場合〉

・「顔氏家廟碑」の太く堂々とした曲線的な線を生かすことにより、文字に力強い生命力を込めた『情熱』を表現できる。
・筆圧を強め安定感のある構えや筆使いと、線に抑揚をつけることに加えて、筆に多めの墨量を含めることで、一時的な『情熱』ではなく、深い信念に基づく『情熱』として仕上げるることができる。

〈図版Bを用いた場合〉

・「孫秋生造像記」の方筆の特色や直線的な線を生かすことにより、激しいエネルギーを感じさせるような『情熱』を表現できる。
・方筆の特徴に加え、少し速めに筆を動かすことで表現できる渴筆などを加えることで、さらに迫力のある力強いイメージの『情熱』に仕上げるることができる。

10

(3)

